

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市民芸術文化ホール	階数	地上6F、地下1F
建設地	大阪府堺市堺区翁橋町2丁128番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	600 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所・集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2015年5月1日
敷地面積	14,333 m <sup>2</sup>	作成者	柳澤孝彦+TAK建築研究所
建築面積	8,758 m <sup>2</sup>	確認日	2015年6月1日
延床面積	19,650 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	69%
③上記+②以外の	67%
④上記+	67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 4.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.2

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 4.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 公園との一体的な計画により都市の中にまとまりある緑のエリアを形成。エネルギー負荷の少ない簡潔で使い易く合理的な平面計画としている。建物外周部を中低層とし周辺環境に配慮。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 劇場という用途のため各室内間は高い遮音性能を確保。居室及び共用部は自然採光・通風によりアメニティに配慮。	<b>Q2 サービス性能</b> 各機能諸室には十分な面積を配分し、バリアフリーに徹した施設としている。バックヤードにも十分な廊下幅を確保。ゆとりある階高設定とし、メンテナンスが容易な計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周囲に緑地帯を巡らせ、隣接する翁橋公園、都市計画公園へと繋がる緑のネットワークを形成。建物東側から南側にはカスケードを配置し、親水性の高い市民の憩いの場を提供。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電設備を設け、自然エネルギー利用を行う。屋根・外壁面の十分な断熱仕様及び高効率な設備システムの採用によりエネルギー負荷を低減。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器の採用、雨水利用等の自然資源の活用を行う。内外装はリサイクル材をはじめとしたエコマテリアルを積極的に活用。内装材には多くの木材を利用し木材利用促進法にも寄与。	<b>LR3 敷地外環境</b> 十分な駐車場、駐輪場を確保し、地域インフラへの負荷抑制を図る。雨水調整槽により敷地外への排水を抑制。建物周囲を中低層が取り巻く構成とすることにより周辺の日照環境に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市民芸術文化ホール	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区翁橋町2丁128番	3.7	S
	主用途/延床面積	集会所 / 19,650.35 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
省エネ対策	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
安全快適な暮らし	4	●●●●●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.3	4
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	4.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		5.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		4.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		4.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		4.2	
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		4.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	